

大阪府道路メンテナンス会議

設立趣意書

大阪府内の道路施設は、昭和30年代後半から昭和45年の大阪万博開催の頃にかけて建設されたものが多く、施設の耐用期限を考えると、重大な事故の発生などのリスクが高まることはもちろんのこと、大規模な修繕や施設更新が一時期に集中する恐れが懸念されており、高齢化や老朽化した施設の維持管理・更新を、いかに的確に対応していくかが重要な課題となっている。

また、府民生活の安全安心や大阪の経済活動を支えるとともに、良好な施設を将来世代へ確実に引き継いでいくことは、我々道路管理者に課せられた重要な使命である。

これら道路施設の維持管理・更新を確実に進めるためには、直轄国道管理施設はもとより、大部分を占める地方公共団体の管理施設も含めて、その実態を把握したうえで、施設の長寿命化を図り、計画的な補修・更新を行っていくことが必要である。

そのためには、国道、府道、市町村道、高速道路の全ての道路管理者が情報を共有し、連携して対応していくことが必要不可欠である。

本会議は、大阪府内における道路施設の高齢化や老朽化による不具合への対応、施設の大量更新時期への備え等、道路の維持管理を効率的・効果的に行うため、全ての道路管理者が相互に連絡・調整を行うことにより、円滑な道路の維持管理の促進を図ることを目的として設立するものである。

平成26年5月23日